

## V 日高振興局

### 1. みなべ梅郷クラブが視察研修会を開催

みなべ梅郷クラブ（会長：前山拓海氏）は、県外の農業経営体における先進的な取組について学ぶため、12月19日、20日に岡山県で視察研修会を開催した。県外における研修会の開催は3年ぶりで、クラブ員5名と農業水産振興課職員計6名が参加した。

研修会では、19日にやまこうファーム株式会社（代表：山本耕祐氏）を訪問し、同社の国産コーヒー栽培及び観光農園経営の取組を視察した。

続いて20日には、おかやまおひさまファーム株式会社を訪問し、代表の斎藤千恵子氏の案内で、国産バナナ有機栽培及び農福連携の取組について説明を受けた。

クラブ員たちは、2社それぞれの取組において栽培品目の選定理由や栽培・経営上苦労した点などを熱心に質問し、うめの農業経営における取組を紹介しながら情報交換を行った。終了後は「3年ぶりに県外の先進地を訪問できてよかった。自身の農業経営でも学んだことを活かし、視野を広く持って新しいことに挑戦したい」と語った。

当課では、今後も研修会の開催、プロジェクト活動等、クラブ員の活動を幅広くサポートしていく。



研修会（上段：やまこうファーム（株）、下段：おかやまおひさまファーム（株））

## 2. ゆら早生の省力・安定生産のためのジベレリン散布実演会を開催

12月21日、当課と由良町農業士会（会長：濱野一宏氏）は、うんしゅうみかん（ゆら早生）における、摘果作業の軽減と安定生産を両立可能な技術である、冬季のジベレリン散布の普及を図るため由良町内で実演会を開催し、農業者7名が参加した。

農薬メーカーやJA紀州の営農指導員とも連携し、ジベレリンの散布量と散布方法、剤の特性、効果などを確認しながら散布実演するなど、みかん生産者が理解を深めて実践できるように工夫した。参加者が見守る中、散布を行うことで「これくらいの量を散布すればよいのか」や「実演を見て方法が分かった」などの声があった。今回の実演会を行った展示ほ場では無処理区を含めて、ジベレリンへの混用剤を変えた5区で試験散布を行っている。展示ほ場は農家の方が見やすいところに設けており、参加者は農作業の合間に様子を確認したいと口々に話していた。来年度には、試験成果の発表も含めて研修会を行う予定。

当課では、今後も由良町農業士会、JA、農薬メーカーなどと協力して、当技術の普及を図っていく。



実演会（上段：参加者への説明、下段：散布実演）